

7月28日に発生した「令和8年熊本地震」は、県内に甚大な被害をもたらし、本市にも大きな影響を及ぼしました。本市では、地震への迅速な対応と被災地への市職員派遣や災害ボランティア派遣など、できる支援に全力で取り組んでいます。

地震対応と復興への支援



最大震度7の地震で家屋が崩れるなど大きな被害を受けた八代郡氷川町の被害状況

特集

令和8年熊本地震

罹災証明書・被災証明書を発行しています

地震に伴い住宅や店舗・事業所などが被害を受けた個人・事業者に対し、罹災・被災証明書を発行しています。申請書は市ホームページからダウンロードできます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

個人住宅の罹災証明書

対象 被害を受けた住居として使用している建物
申請に必要なもの 申請書、本人確認ができるもの（運転免許証など）、被害状況が分かる写真、委任状（同居の親族以外の人が申請する場合）
申請方法 市防災課（市役所3階3・8番窓口）で申請してください。電子申請（マイナポータル申請）もできます。



▲電子申請

個人物件などの被災証明書

対象 被害を受けた個人が所有する住家以外の物件など
申請に必要なもの 申請書、印鑑、本人確認ができるもの（運転免許証など）、被害状況が分かる写真
申請方法 市防災課（市役所3階3・8番窓口）で申請してください。

事業所などの被災証明書

対象 店舗、事業所、工場、事業用設備、貸家、農地など
対象者 被害を受けた商工業・農林業・畜産業者
申請に必要なもの 申請書、印鑑、被災状況が分かる写真、被災場所の位置図、その他関係資料など
申請方法 市経済部各課（市役所2階）で申請してください。
問合せ 「個人の住宅など」市防災課防災係、「店舗・事業所など」市商工観光課商工業係、「農地など」市農林整備課林務係、「畜舎・農業用倉庫など」市農業振興課



▲個人



▲事業者

市内で最大震度5弱を観測

夏休み真っただ中の7月28日午後4時27分。熊本地方を震源とした最大震度7の地震が県内を襲いました。この地震で、38人が亡くなり、3万8千棟を超える住宅被害が報告されています（8月25日現在）。市内では震度5弱を観測し避難所を開設。市内各地での断水や、九州自動車道の通行止めによる食料品などの品切れも発生しました。

恩返しへの支援を実施

令和2年7月豪雨で被災した本市は、全国からの温かい支援や援助を受けて復興を進めてきました。その時の恩を忘れず、今度は被災地に恩返しをする番です。

本市では、市職員を八代市や宇城市などへ派遣したり、ふるさと納税の代理受領を行ったりと被災自治体を支援。そのほか、被災者へ市営住宅の一時提供や住民票など各種証明書手数料の減免、二次避難所として市内のホテルや旅館での被災者受け入れ、子どものショートステイ（宿泊預かり）も行っています。

災害ボランティアも派遣

市と市社会福祉協議会では、被災地への災害ボランティア派遣を8月10日から実施。派遣初日には市役所で出発式を行い、松岡市長は「令和2年7月豪雨時に多くの皆さまから温かい支援をいただき、今日を迎えることができている。今度は私たちができる限りの支援を届け、一人でも多くの人の力で被災地を支えていきたい」とあいさつし、第1陣となる災害ボランティア15人を送り出しました。

市民の皆さまへ

この度の「令和8年熊本地震」は、県内各地に甚大な被害をもたらしました。犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての皆さまに心からお見舞いを申し上げます。本市も震度5弱の揺れに見舞われ、特に水源地の濁度上昇による断水では、市民の皆さまに大変なご不便とご心配をおかけしました。復旧に際し多大なご支援をいただいた方々、いち早く被災地に寄り添い行動されている皆さまに、厚く御礼申し上げます。

令和2年7月豪雨災害という未曾有の災禍を本市は経験しています。あの時の全国から頂いた温かいご支援への感謝を胸に、被災自治体への息の長い支援を続けてまいります。

人吉市長 松岡隼人



▲松岡市長が災害ボランティアを激励

令和8年熊本地震の募金箱を設置しています

この度の地震を受け、市役所では、募金箱を設置しています。受領証が必要な人は、市福祉課福祉政策係（市役所1階8番窓口）に直接お越しください。

皆さまの温かいご支援をお願いします。
受付期間 10月30日（金）
設置場所 市役所1階正面玄関入口、市福祉課（市役所1階8番窓口）
問合せ 市福祉課福祉政策係



被災自治体へ市職員を派遣しています

本市では、8月1日から八代市や宇城市などの被災自治体へ職員を派遣。被災地では、支援物資の受け入れや被災建築物の応急危険度判定、保健師による被災者の健康管理などに従事しています。

7月31日に市役所で出発式を行い、派遣職員を代表して田口雅也技術専門員は「現地では多くの人が困難な状況に直面している。一日も早く安心できる生活を取り戻せるよう、支援に全力を尽くす」と決意を述べました。

本市は今後も市職員を派遣し、被災地の状況に応じた支援を継続していきます。



▲第1陣として3人を被災地へ派遣した

八代市・宇城市・八代郡氷川町のふるさと納税代理受領も行っています。

問合せ 市商工観光課商工係



詳しくはこちら



災害時協力井戸の標識（ステッカー）